

親子フィラーQタイプは、鋼製フィラーの適切な取付けと、ベースプレート下端及び**ベースプレート孔の空隙部位に、親子フィラーQグラウトを充填**することで、所定の性能を得ています。
 この要件を確保するために、**鋼製フィラーの取付け及びOFQグラウトの注入作業は建設会社(元請け)様**にお願いします。見積り内容については「解説書(親子フィラーQ施工の手順)」をご参照ください。
 また、鉄骨柱の固定(本締め)は、グラウト材注入後に行うのではなく、**親子フィラーQグラウトの注入前に完了している**ことをご確認ください。

弊社から供給可能な機材の内容は、以下の5点(①~⑤)です。

1)流動性試験用キットとして:

- ①フラットフロー板
- ②試験筒
- ③水温計

2)充填促進機材として:

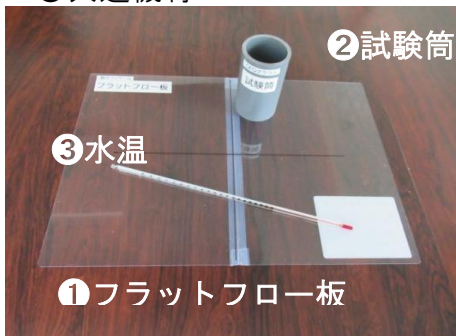
- ④スラスター(50)(30) ***必須**
- ⑤注入枠設置ガイド(50)(30)

1)は折り畳み式となっています。

ご使用時には、図にあるように開いた状態でご使用ください。

2)はベースプレート端と注入枠の間隔を50mmまたは30mmとすることを前提としております。注入幅を変更される場合は、適宜機材をご用意ください。

●共通機材



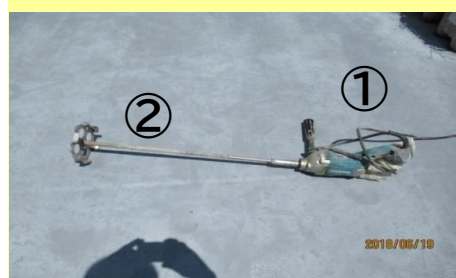
●注入幅が50mmの場合



●注入幅が30mmの場合



下記の①~⑥は、別途、ご用意ください。(OFQグラウトを作製するための機材です)



- ①電動攪拌機
 - 800~1300rpmの能力が必要です。
- ②攪拌用羽根 + シャフト
 - 折返しの付いた羽根がベストです。
 - 鋼製です(アルミニウム製は不可)



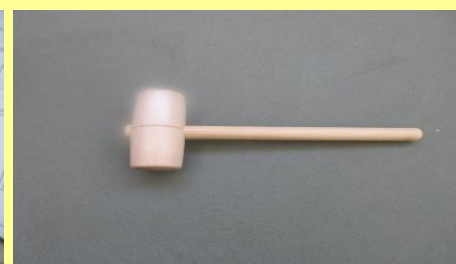
- ③攪拌用缶
 - 20~25ℓの容量があると安心して施工ができます。
 - 予備の缶があると施工が楽です



- ④混練水計量カップ (例)
 - 市販の計量カップで4.6ℓを1回で計量できるのではありません。
 - ※上記の例は、4.6ℓを3回に分けて計量・投入するケースです。(15.33ℓ×3杯=4.6ℓ)



- ⑤時計(混練時間の計測)
 - 混練時間は、120±10秒です。



- ⑥木槌は、グラウト材注入時、注入枠を叩いてグラウト材に振動を与え、その流動性を促進させるために使用します。

- 親子フィラーQグラウトの作製には左記の機能を持つ機材が必要です。
- 適用可能な機材をご用意ください。(仕様等は施工マニュアル参照)